

# よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)



《 第61号 》 (2019年度)

シリーズ  
よえもん

藤樹先生の代表的な門人  
熊 沢 蕃 山 その3

蕃山の桐原の家での5年間は、5人の弟や妹達を養いながらの、ほんとうに貧しい独学の時代でしたが、藤樹先生の励ましに支えられ、かえって自分をみがく事ができました。

27歳のとき、ふたたび岡山藩に仕え、29歳のとき、池田光政に学問を認められ、側役となりました。その後光政は、藤樹先生を招いて陽明学の教えをうけようとしたのですが、藤樹先生は辞退しました。

30歳のとき、藤樹先生が亡くなり、蕃山は光政の使いとして、藤樹書院にやってきて、お墓参りをしました。そのとき、藤樹先生の長男や門人達、のちには次男、三男をすいせんして、光政に召し抱えていただきました。このようにして、藤樹先生の教えは、岡山藩に受けつがれていきました。



「論語」衛霊公第十五

書 淵田瑞穂さん

人能く道とひろむ  
道人と  
ひろむるに非ず

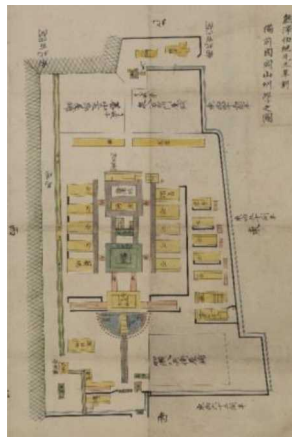
「人間が道を広めるのであり、道が人間を広めるのではない。」という意味です。

何げなく、深く考えずに生きていても、自然に自分の生きる道や正しい生き方が切り開かれていくというものではないということです。

自分の心の中に、しっかりとした夢や理想を描いて、その実現に向けて創意工夫を重ね、日々努力していくことが何よりも大切であると言えます。



史跡 旧岡山藩藩学跡  
(岡山市北区蕃山町)



岡山藩藩学 古図  
(備前国岡山州学之図)

\* 記念館だより \*

第32回 記念館 小企画展「熊沢蕃山生誕400年」を開催しています!

桜がきれいに咲き春らしくなりましたが、少し肌寒い日が続いています。今年度も3人が引き続き勤めることになりました。よろしくお願申し上げます。前号でも紹介させていただきましたが、当記念館では3月1日から、第32回小企画展を開催しており、早速多くの方にご来館いただいています。さらに多くの方のご来館をお待ちしています。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

